

香川県震度分布図（長尾断層帯）



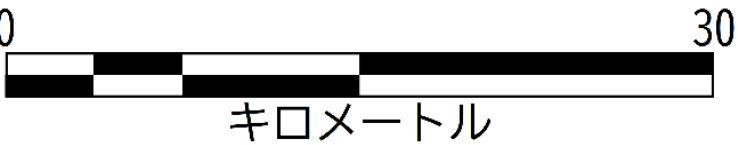
震度 7	震度 5 弱
震度 6 強	震度 4
震度 6 弱	震度 3 以下
震度 5 強	

長尾断層帯で地震が発生した場合の揺れの強さを示しています。

- お住まい等の地域がどのくらい揺れるのか確認し、建物の耐震化や家具等の転落防止対策を行いましょう。
- 地震が発生したら、まずは揺れから身を守りましょう。
- 揺れがおさまったら、速やかに避難を開始しましょう。

震度階級	震度と揺れ等の状況（概要）
7	- 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる - 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある - 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる
6 強	- はわないと動くことができない、飛ばされることもある - 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる - 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある - 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる
6 弱	- 立っていることが困難になる - 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることある - 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある - 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある
5 強	- 物につかまらなと歩くことが難しい - 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる - 固定していない家具が倒れることがある - 補強されていないブロック塀が崩れることがある
5 弱	- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる - 棚にある食器類や本で落ちることがある - 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある
4	- ほとんどの人が驚く - 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる - 座りの悪い物置が、揺れることがある
3	- 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる - 歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる - 眠っている人の大半が、目を覚ます - 棚にある食器類が音を立てることがある - 電線が少し揺れる

○長尾断層帯
長尾断層帯は、讃岐山脈の北縁に位置し、さぬき市から高松市南部を経て綾歌郡綾川町に至る断層で、平均活動間隔（発生頻度）は概ね3万年程度となっています。
この震度分布図は、長尾断層の断層モデルとして国が示した4つのモデルのうち、本県に影響の大きいモデルによる震度を示したものです。



※ 地震は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることからこの図以上の揺れになることもあります。